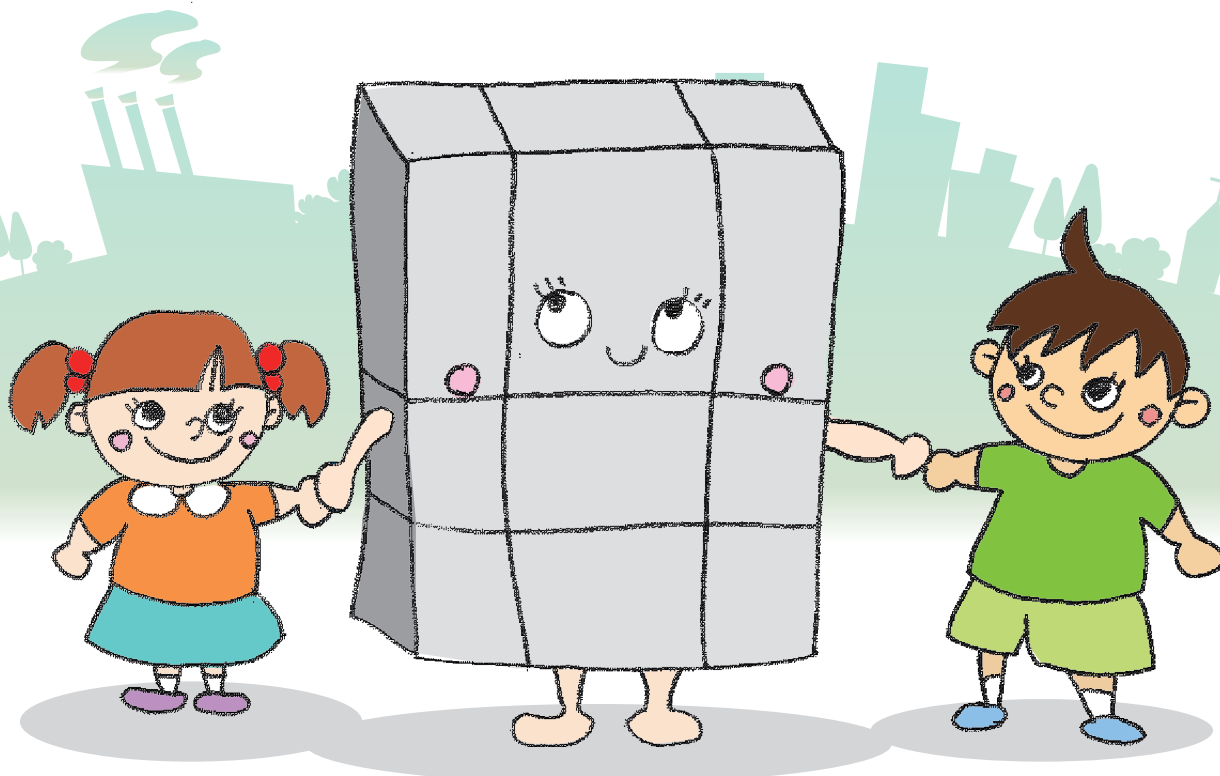


お宅のブロック塀は大丈夫ですか？



地震で倒壊したブロック塀は道路をふさぎ、被災者の避難や救助活動を妨げるだけでなく、人命を脅かす凶器となる可能性があります。平成30年に発生した大阪府北部を震源とする地震や平成28年の熊本地震、平成17年の福岡県西部沖地震など、これまで大地震では広範囲でブロック塀が倒壊し死亡者も発生しています。通学路、避難路など多くの方が通行する道路に面するブロック塀の安全確保は、地域社会の共通する願いです。ご自宅のブロック塀の安全性について自己点検をしてみましょう。

危険ブロック塀の除却については、費用の一部について補助を受けることができます。詳しくはお住まいの市町村の建築担当窓口までご相談下さい。ブロック塀には、法律で定められた基準があり、その安全性の確保は所有者の責任です。

【お問い合わせ先】

宮崎県県土整備部建築住宅課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号

TEL:0985-26-7195

FAX:0985-20-5922

【市町村担当窓口】

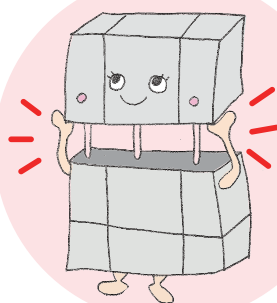
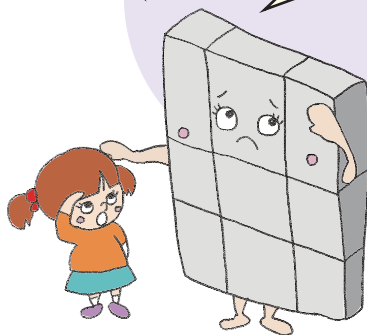


ブロック塀を点検しましょう!!

※分からない場合は不適合にチェックして下さい

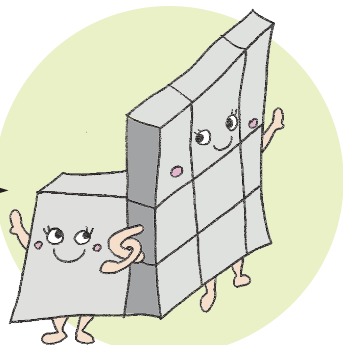
チェックポイント①
塀は高すぎませんか?

チェックポイント②
塀の厚さは十分ですか?

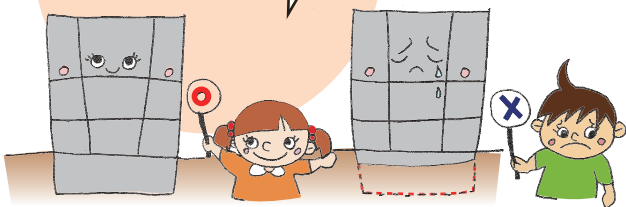


チェックポイント③
鉄筋は入っていますか?
塀の中に鉄筋が入っているか、塀を作った施工者などと相談して下さい。

チェックポイント④
控え壁はありますか?

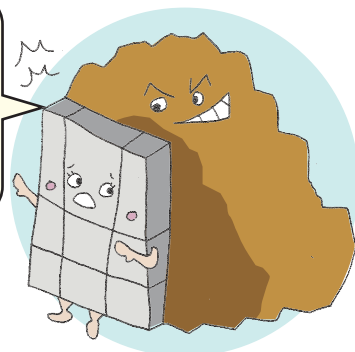


チェックポイント⑤
基礎がありますか?
塀の周りを掘って確認して下さい。



チェックポイント⑥
健全性が確保されていますか?塀の傾きや、ひび割れ、ぐらついたりしていませんか?

チェックポイント⑦
土留めと兼用していませんか?



コンクリートブロック塀の場合

点検項目	点検内容	点検結果	
		適合	不適合
① 高さ	2.2m以下	はい	いいえ
② 壁の厚さ	高さ2mを超える塀で15cm以上	はい	いいえ
	高さ2m以下の塀で10cm以上	はい	いいえ
③ 鉄筋	壁内に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で入っており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている。	はい	いいえ
④ 控え壁 (高さ1.2m超の場合)	塀の長さ3.4m以下ごとに、直径9mm以上の鉄筋が入った控え壁が塀の高さの1/5以上突出してある。	はい	いいえ
⑤ 基礎 (高さ1.2m超の場合)	丈が35cm以上で根入れ深さが30cm以上の鉄筋コンクリート造の基礎がある。	はい	いいえ
⑥ 傾き ひび割れ	全体的に傾いていない、1mm以上のひび割れがない。	はい	いいえ
	ぐらつき	人の力でぐらつかない。	はい
⑦ その他	塀の土留め壁を兼ねていない、擁壁等の上でない。	はい	いいえ

組積造の場合(鉄筋が入っていないブロック塀も含む)

点検項目	点検内容	点検結果	
		適合	不適合
① 高さ	1.2m以下	はい	いいえ
② 壁の厚さ	各部分の厚さがその部分から壁頂までの垂直距離の1/10以上ある。	はい	いいえ
④ 控え壁	塀の長さ4m以下ごとに、壁面からその部分の壁の厚さの1.5倍以上突出している、又は壁の厚さが必要寸法の1.5倍以上ある。	はい	いいえ
⑤ 基礎	根入れ深さが20cm以上ある。	はい	いいえ
⑥ 傾き ひび割れ	全体的に傾いていない、1mm以上のひび割れがない。	はい	いいえ
	ぐらつき	人の力でぐらつかない	はい
⑦ その他	塀の土留め壁を兼ねていない、擁壁等の上でない。	はい	いいえ

点検項目のうち1つでも不適合があれば、ブロック塀の安全対策が必要と考えられますので、専門家にご相談下さい。